

第33回大阪市学校適正配置審議会 会議録

1 日 時 平成 22 年 9 月 27 日 (月) 午前 10 : 30 ~ 11 : 55

2 会 場 大阪市役所 屋上 (P 1) 会議室

3 出席者

【委員】

牛島委員、近藤委員、坂井委員、田中委員、徳尾野委員、
中島委員、平井委員、堀村委員、牧委員、山口委員

【事務局】

永井教育長、中尾教育次長、岡田総務部長、吉田指導部長、
杉谷施設整備担当課長、濱崎学事担当課長、
吉原学校適正配置担当課長、山本学校適正配置担当課長
赤銅初等教育担当課長、柴田中学校教育担当課長

4 議 題

(1) 会長・会長代理の選任

(2) 周知パンフレットの概要について

(3) その他(報告事項)

平成 22 年度児童数・学級数の現況について

中津南小学校と中津小学校(一部大淀小学校)の統合について

5 議 事 録

「審議会規則」により、委員の互選により中島委員を会長に選任し、
中島会長の指名により植田委員(欠席)を会長代理に選任。

次に、「(3) その他」について、事務局から説明した。

《主な質疑・意見等》

徳尾野委員

中津南小学校と中津小学校の統合の結果について、児童数をみたが、統合し
たけれども少ない。5年後も、複数の学級が維持されるのか。

岡田部長

現在、12 学級であるが、当該エリアについては、周辺の開発が進む可能性も
あると考えている。

山口委員

浪速区に住んでいるが、具体的に統廃合、何年か先になくなっていくのか。

岡田部長

審議会答申では、児童数が120名を下回る状況であり、今後とも120名以上に増加する見込みが立っていない小学校については、教育委員会から地域、保護者の方々に働きかけて、学校配置の適正化をできるだけ早期に実現すべきだという提言をいただいている。浪速区では、現在、日本橋小学校において、地域・保護者の皆様と話し合いを進めている。一方、それ以外の小学校でも、適正規模に満たない学校については、地域の皆様に主体的に考えていただけたらどうかということで、パンフレットを作成し情報発信する。浪速区については、すべての小学校が全学年単学級なので、このようなパンフレットを活用して、地域の皆様で適正配置に関する話し合いの場を作っていただきたいと考えている。

中島会長

教育委員会の中で、社会教育関係の部署と、この適正配置、統廃合に関して話し合ったりされているのか。

永井教育長

小学校区単位に社会教育を進めていくということで、「はぐくみネット」というものが、全小学校区で活動している。小学校が地域コミュニティの核となっている。子どもの教育だけではなくて、保護者なり地域の方の活動の拠点にもなっていることから、統合していこうとすると生涯学習の動きがどうなるのかという話がある。

坂井委員

地域によっては今の少ない人数で非常にうまくいっている、学校もうまくいっているし、地域ともうまくいっている学校も中にはあるかと思うが、教育委員会としては、統合は決まっています、みたいな進め方なのか、あくまでも地域の方と話し合いを重ねて、納得いく所まで何年でも検討を重ねていかれるのか、その辺はどのように考えているのか。

永井教育長

学校の適正配置を考えるのは、子どもの教育の面からであり、全学年単学級であれば、クラス替えもできないことから人間関係が固定化する傾向にあるなどの課題をご理解いただかないと、前に進まないと考えている。子どもの将来を考えてどうなのかということで、粘り強く話をしていく必要がある。のちほどご審議いただくパンフレットについても、地域の皆さんと課題を共有して議論していただくものにしていこうと考えている。

次に、「(2)周知パンフレットの概要について」、事務局より説明した。

《主な質疑・意見等》

田中委員

マスコミの仕事をしているが、内容については悪くないと思うが、タイトルからしてどうかと。手にとってもらえなければ、意味がない。結局、目的は何だというのがわからない。目的としては、統廃合するということなので、そういうところをきちっと、見出しなりタイトルにないと、自分のこととして考えないだろうと思う。

山口委員

統廃合していきますということ、考えていますということがはっきりとわからないと、何の資料なのかなと思ってしまうのではないかな。だから最初に、統廃合していくのか、その上でどのように進めていくのか、どういうふうになっていくのかというのが、たぶん PTA が知りたいと思う。逆に統廃合が決まったら、決まった時点で、例えば3年かけてとか、5年かけて子ども達の交流をさせてというふうに、PTA はそちらの方を望むのではないかなと思うので、はっきり書いてもらいたい。

岡田部長

もう少しパンフレットの内容を、保護者・地域の方にわかりやすくしたほうがいいという意見だったと思うので、今後、頂いた意見を反映してまいりたい。

山口委員

小規模な学校では競争がないというのは、PTA はわかっている。ただ、先生との距離がものすごく近くて、保護者にとってはいい学校だと正直思っているのに、統廃合しなくてもいいのではと、PTA の方は思っているのではないかなと思う。統廃合が必要だということを明確に言わないと、たぶんこのままでいいと、保護者の意見はそうなると思う。統廃合が必要だということを明確に出さないと、前に進まないのではないかなと思う。

牧委員

スクールカウンセラーをやっていたので、やはり保護者の方が何を心配しているかといえば、今後どうやって要望を聞いてもらって、それにどう対処してもらおうかということだと思う。大事なのは、適正配置をするのだという前提で、どうやって保護者の方たちの意見を取り入れてくれるのかというところが、一番の関心事だと思う。市役所が対話方式でやっていくということ、明確に打ち出していくというのが一番必要ではないかなと思う。

徳尾野委員

跡地の話などが全然出ていないので、おそらく、地域の方はその辺が不安になってくると思う。地域の意見がどの程度反映されるのかということ、少し、加えた方がいいと思う。

堀村委員

統合の結果として具体的にどうなったのかというのが、みえた方がいいのではないかと思う。今回、中津南小学校の統合も順調に進んでいる印象を受けたが、たとえば、今まで同じ小学校に通っている人を分断するのを懸念され、選択できるようにしたとか、そういうところで対処してもらえるとというのがみえれば、少し解消されると思う。統合の過程で出てきた不安などに対してどう対処したとか、何か具体的な事例をあげられたほうがわかりやすいのではないか。

徳尾野委員

小中連携とか小学校間の連携の実績なんかも、どのように盛り込めばわかりやすいかわからないが、統廃合のハードルはあまり高くないということが、何か客観的にわかるようなものがあればいいかと思う。

中島会長

パンフレットの中に、統合を経験した児童や保護者のみなさんからのご意見というのがありますが、これだけを見ると、メリットとデメリットがあり、プラスマイナスで相殺されてしまうような感じがする。これだとちょっと説得力がないと思う。その前のページの小規模校の利点と課題の項を見ると、利点よりも課題がたくさんある。ここの課題に書かれている、教育活動の幅が狭くなるとか、クラス替えができないのでどうというのは、教員サイドの視点だと思う。ところが、ご意見では教員がない。やはり教員の意見が一番わかりやすい。ここが、その前に書かれている利点、課題と比べて非常に貧弱に思うので、来月、中津小学校の方でアンケートを予定されているようなので、もう少し工夫してもよいのではないかと思う。

岡田部長

中津小学校のアンケートについては、児童・保護者だけではなく、教員も含めているので、そういった先生方の声も書き、もう少しわかりやすくしたいと思う。それと、学校の跡地をどうするのかという問題であるが、大阪市の場合、厳しい財政事情のなかで、なかなかその辺がお示ししにくい。

平井委員

統合しないで残していきたいという PTA の方もおられると思う。統合した場合、中学生くらいなら体力もあるからいいが、小学生では学校が遠くなると大変だと思う。

永井教育長

子ども達の通学の問題は大きなポイントとなる。これは、当該校の PTA の方と十分話し合いをしながら検討することになる。

山口委員

大阪市として統廃合していくという方向であるならば、具体的に、自分達の学校は統廃合の対象になっているということが、まずパンフレットのどこかに

あり、だから一度考えてみませんかというのを打ち出さないと、何のパンフレットかと思って、たぶん誰も乗ってこないのではないか。

永井教育長

その点は、パンフレットに、本年2月に頂戴した答申をどういう形で反映させるか検討する。

中島会長

このパンフレットの基本的なスタンスというか、その方向性みたいなものが、まだあいまいではないかというご意見がちょっと多かったかと思う。事務局は、本日の意見を踏まえて、周知パンフレットを作成していただきたい。